

## 1 中期学校経営方針

### (1) 学校経営中期取組目標

学校経営中期取組目標
<ul style="list-style-type: none"> <li>・進んで人とのかかわりを合い大切にし（自立）、共に高め合うこと（協働）に視点を当てた教育活動を進め、「自分大好き」「みんな大好き」「ひとみかがやく西が岡の子」（学校教育目標スローガン）を育てます（創造）。</li> <li>・自己肯定感や主体的な態度、思考力・判断力・表現力等の資質・能力を育成する授業に向けて、授業力向上に取り組みます。</li> <li>・全教職員が学校運営に主体的に参加し、「子どもの未来のために」を合い言葉に、「活力」ある学校づくりを推進します。</li> <li>・学校は家庭、地域、関係機関と連携を深め、学校運営協議会を活かした地域社会に開かれた学校づくりを進めます。</li> </ul>

### (2) 「豊かな心の育成」に向けた重点取組分野・取組目標・具体的取組

重点取組分野	取組目標	具体的取組
豊かな心	豊かな体験活動で培った子どもの問題意識をいかして道徳の授業改善を進め、校内研修を通して、教職員の授業力の向上を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・だれもが、安心して、豊かさを基盤にした学校づくりを推進し、栽培や生き物体験活動等を充実して、豊かな感性を育む教育の充実を図る。</li> <li>・縦割り異学年交流活動を進めることで、友だちや自分のよさに気づき、個性の伸長や自己肯定感を共に高め合う子どもを育てる。</li> </ul>
担当	道徳部	

## 2 児童（生徒）の実態（「豊かな心の育成」にかかわる課題）

本校は閑静な住宅地に位置し、児童は恵まれた環境の中で育っている。保護者や地域の方々の学校教育に対する関心や期待も大きい。横浜市学力・学習状況調査の意識調査からは「自分にはよいところがある」「自分から挨拶をしている」と回答した児童の割合が低く、自己有用感、コミュニケーション力に課題が見られる。

## 3 「豊かな心の育成」に関する具体的取組

全教育活動を通しての道徳教育の充実を図る。

○異年齢集団活動を充実させる。

「児童会活動」「クラブ活動」「縦割り活動」などの「異年齢集団活動」を、より自主的、意欲的に行うことができるようにする。

○道徳教育の充実

・全学級の授業を家庭・地域に(年1回以上)公開する。

・道徳教育について、家庭、地域に発信する。

○地域との連携や交流

・総合的な学習の時間などとも関連付けながら、地域の方々とのふれあい活動を進める。

1、2年生(生活科)「むかしあそび」の活動や行事への招待

3年生(社会科)「わたしたちの市の歩み」昔の道具体験活動

4年生(総合)「絵手紙」での泉寿荘の方々とのかかわり 等